GAUDI

ポータブルDVDプレーヤー

取扱説明書

GHV-PDV775シリーズ

・本製品は日本国内専用に製造および販売されています。
・本製品は日本国外では使用できません。
・日本国外で使用された製品によるいかなる問題に対しても弊社は責任を負いかねます。
・日本以外の国での製品の技術サポートおよびサービスは一切行なっておりません。

・This product is manufactured and sold for Japanese domestic market only.
・This product can not be used outside Japan.
・We have no responsibility for any issues caused by the use of this product outside Japan.
・We also do not have any technical support and service for this product in other countries.

はじめに

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
また、お読みになった後も大切に保管してください。

設置の手順

付属品を確認します。
（1 ページ）

本取扱説明書に書かれている「安全上のご注意」、「使用上のお願い」、「ディスクについて」、「対応メディア」、「各部のなまえ」をよく読みます。
（4 ～ 24 ページ）

準備を行います。
（27 ページ）

本機の電源を ON にします。
（27 ページ）

付属品の確認

パッケージの中に下記のものがすべて入っているかどうかご確認ください。

●専用リモコン ・・・1 個
●リモコン用ボタン電池（CR2025 取り付け済み） ・・・1 個
●専用 AV 出力ケーブル ・・・1 本
●専用シガーソケットアダプタ（12V 車専用） ・・・1 個
●専用 AC アダプタ ・・・1 個
●専用キャリングバッグ ・・・1 個
●取扱説明書（本書） ・・・1 部
●1 年間保証書 ・・・1 部

* 付属のリモコン用電池はモニタ用のため、寿命が短い場合があります。ご了承ください。

目次

はじめに 1
設置の手順 1
付属品の確認 1
安全上のご注意 4
安全に正しくお使いいただくために、必ずよくお読みください 4
使用上のお願い 12
末永くお使いいただくために 12
ディスクについて 16
使用できるディスク 16
DVD に表示されるマークについて 20
リージョン番号（地域番号） 21
著作権について 21
ディスクの内容の区分 22
対応メディアについて 23
対応メディア 23
各部のなまえ 24
本機名称 24
準備 27
専用 AC アダプタ接続 27
リモコンを使用する 27
電源操作 27
液晶画面を回転させる 28
再生（基本編） 29
DVD ビデオディスクを再生する (基本編) 29
再生（応用編） 32
DVD ビデオディスクを再生する (応用編) 32
再生（便利な再生機能編） 33
DVD ビデオディスクを再生する (便利な再生機能編) 33
ファイルメニュー 38
ファイルメニューの操作 38
動画ファイル / 音楽ファイル / オーディオ CD の再生 41
画像ファイルの表示 42

本体設定 43

　設定画面の操作 43

　テレビに出力する 46

トラブルシューティング 47

　故障かな？と思ったら 47

その他 49

　仕様 49

　製品構成 50

　故障修理について 51

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために、必ずよくお読みください

この取扱説明書は、製品を安全に正しくお使いいただく上で、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

■表示の説明

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

なお、⚠注意に記載された事項、及び本文中の注意事項でマークの無い注意事項でも状況によっては、重大な結果に結びつく可能性があります。必ず「ご使用上の注意」を守ってください。

■絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⊘記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中や近くに具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠警告（もし異常が起こったら）

●煙が出ていたり、変なにおいや音がするときは、すぐに電源スイッチを OFF にし、専用 AC アダプタをコンセントから抜く。または専用シガーソケットアダプタをシガーソケットから外す。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認し、販売店または弊社カスタマサポートに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

●内部に水や異物が入った場合は、すぐに電源スイッチを OFF にし、専用 AC アダプタをコンセントから抜く。または専用シガーソケットアダプタをシガーソケットから外す。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店または弊社カスタマサポートにご連絡ください。

●落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源スイッチを OFF にし、専用 AC アダプタをコンセントから抜く。または専用シガーソケットアダプタをシガーソケットから外す。

●AC アダプタのコードが傷んだり、発熱したときは、すぐに電源スイッチを OFF にし、専用 AC アダプタをコンセントから抜く。または専用シガーソケットアダプタをシガーソケットから外す。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店または弊社カスタマサポートにご連絡ください。

電源について

●交流１００ボルト（５０/６０Ｈｚ）のコンセントに接続する

交流１００ボルト以外を使用すると、火災・感電の原因となります。また、たこ足配線等で、コンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。発熱による火災の原因となります。

●国外で使用しない

本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

●専用 AC アダプタの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、専用 AC アダプタを抜いてから乾いた布で取り除く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。また、専用 AC アダプタの刃にほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こす可能性があります。年に数回、定期的に刃のほこりを取り除いてください。

●専用 AC アダプタ及び専用シガーソケットアダプタのコードの上に重いものをのせない

コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気づかず、重い物をのせてしまうことがあります。

●専用 AC アダプタ、及び専用シガーソケットアダプタのコードは

・傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしない

・引っ張ったり、はさんだりしない

・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない

コードが破損して火災·感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店または弊社カスタマサポートに交換をご依頼ください。

禁止

●12V仕様の自動車で使用する

付属の専用シガーソケットアダプタは 12V車専用です。
24V車では絶対に使用しないでください。

設置について

禁止

●ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所や振動のある場所に置かない

本機が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

風呂場･シャワー室での使用禁止

●風呂場・シャワー室など、水のかかる恐れのある場所では使用しない

火災・感電・また故障の原因となります。

水ぬれ禁止

●水が入ったり、ぬらさないようにする

本機、及び専用バッテリパックは防水設計されておりません。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

使用について

分解禁止

●修理・改造・分解はしない

本機のキャビネットを外したり、改造したりしないでください。内部には、電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店または弊社カスタマサポートにご依頼ください。

ぬれ手禁止

●ぬれた手で専用 AC アダプタ、または専用シガーソケットアダプタを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

⚠警告

禁止

●異物を挿入しない

ディスクトレイから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

接触禁止

●雷が鳴り出したら本機や専用 AC アダプタに触れない

感電の原因となります。

設置について

必ず行う

●専用 AC アダプタはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、専用 AC アダプタの刃に触れると感電することがあります。

禁止

●専用 AC アダプタは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しない

発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

禁止

●専用 AC アダプタを抜く時はコードを引っ張らない

コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ず専用 AC アダプタ本体を持って抜いてください。

禁止

●専用 AC アダプタのコードを熱器具に近づけない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

⚠注意

禁止

●温度が高い場所に置かない

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所、ストーブの近くなど、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。

禁止

●調理台や加湿器のそばなど、油煙、湿気、ほこりの多い場所に置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因となることがあります。また、たばこの煙なども機器の故障の原因になることがあります。

禁止

●移動させる場合は外部の接続コード類を外してから行う

コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

禁止

●接続する機器の取扱説明書の指示に従う

テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

使用について

注意

●電源を ON にする前には音量を最小にする

過大入力でスピーカーが破損したり、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

禁止

●ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。

禁止

●本機のレーザー光源をのぞきこまない

レーザー光が目に当たると、視力障害を起こすことがあります。

⚠注意

●長時間音が歪んだ状態で使わない

スピーカー等が発熱し、火災の原因となることがあります。

●本機に乗ったりしない

特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

●ディスクトレイ部に触れない

ピックアップレンズに触れると故障の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●ヘッドフォンをご使用になる時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

●テレビやオーディオシステムの音量を上げすぎない

音量を上げすぎると、耳への刺激で聴力に悪い影響を与えたり、ご近所の迷惑になります。特に夜間は、日中よりも音量を下げるようにしてください。

●旅行などで長期間ご使用にならない時は、安全のため必ず専用 AC アダプタをコンセントから抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、漏電などにより、また万一故障したとき、火災の原因となることがあります。また、ディスク保護のため、ディスクも取り出しておいてください。

⚠注意

電池について

禁止

●指定以外の電池は使用しない

●新しい電池と古い電池、種類の違う電池を使用しない

電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

注意

●極性表示（プラス（＋）マイナス（－）の向き）に注意し、表示通りに入れる

間違えると、電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を取出す

●長時間使用しない時は、電池を取り出す

●電池に表示されている［使用推奨期限］を過ぎたり、使い切った電池は入れておかない

電池から液がもれて火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液に直接触れずによくふきとってから新しい電池を入れてください。また万一、液が皮膚や衣服についた時は、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入った時は、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。

禁止

●充電・加熱・分解・ショートしたり、水や火の中に入れない

電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。

保守・点検について

注意

●５年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください

内部にほこりがたまったまま長い時間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。

●お手入れの際は安全のために、専用 AC アダプタをコンセントから抜き、専用バッテリパックを外してから行ってください

感電の原因となることがあります。

末永くお使いいただくために

動作中に移動させない

●動作中に本機を移動させないでください。ディスク再生中はディスクが高速回転しているために、ディスクを傷つける恐れがありますので特にご注意ください。

動作中に専用 AC アダプタなどを絶対に抜かない

●動作中に専用 AC アダプタ、専用シガーソケットアダプタを外してしまうと本機が故障したり、ディスクを破損したりする恐れがあります。本機の動作中には専用 AC アダプタや専用シガーソケットアダプタを外さないでください。外す前には必ず電源を OFF にしてください。

設置場所についてのご注意

●水平で安定した場所を選んで設置してください。ぐらぐらする机や、傾いている所など不安定な場所には設置しないでください。ディスクが外れるなどして、故障の原因となります。
●本機を設置する場所は、本機の重さに十分に耐えられることを確認してください。
●本機が落下した場合にけがの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。
●テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。
●本機をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本機を使用中、組み合わせによっては画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一このような症状が発生した場合は、テレビやラジオ、ビデオからできるだけ離してください。
●次のような場所への設置は避けてください。
・直射日光のあたる所
・湿気の多い所や風通しの悪い所
・極端に暑い所や寒い所、急激な温度変化のある場所
・振動のある所
・ほこりの多い所
・油煙、蒸気、熱などがあたる所（台所など）

上に物をのせない

●本機の上に物をのせないでください。

使わないときは電源を切っておく

●ディスクトレイからディスクを取り出し、電源を OFF にしてください。

●長時間使用しないときは、専用 AC アダプタを外してください。

●テレビ放送やラジオ放送の電波状態により、本機の電源を ON にしたままテレビやラジオを点けると画面にしま模様が出たり、雑音が出たりする場合があります。このような場合は本機の電源を OFF にしてください。

本機を移動する場合のご注意

●本機を移動したり梱包したりする場合は、必ずディスクトレイからディスクを取り出し、ディスクカバーを閉じてください。ディスクをディスクトレイに入れたまま移動しますと、故障の原因となります。

再生するときの制約

●この取扱説明書は、本機の基本的な操作の仕方を説明しています。ＤＶＤビデオディスク、ビデオＣＤは、ディスク制作者側の意図により再生状態が決められていることがあります。本機はディスク制作者が意図した内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに動作しないことがあります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。

その他のご注意

●殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。
●ゴムやビニール製品を長時間触れさせることは、キャビネットを傷めますので避けてください。変色したり、印刷、塗装がはげるなどの原因となります。
●長時間ご使用になっていると、液晶画面や本機上面、専用バッテリパックが多少熱くなりますが故障ではありません。

製品のお手入れについて

●キャビネットや操作パネル部分のよごれは、柔らかい布でからぶきしてください。
●よごれがひどい場合は、柔らかい布を水で５～６倍に薄めた中性洗剤に浸して、よく絞ってからよごれをふきとり、その後乾いた布でからぶきしてください。
●アルコール、シンナー、ベンジンなどは絶対に使用しないでください。変色したり、印刷、塗装がはげるなどの原因となります。
●化学ぞうきんをお使いの場合は、化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。
●お手入れの際は、専用 AC アダプタや専用シガーソケットアダプタを外してください。

結露について

結露はディスクや本機を傷めます。よくお読みください。

冬季などに本機を寒い所から暖かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部やピックアップレンズ）に水滴がつきます（結露）。結露したままでは本機は正常に動作しません。結露の状態にもよりますが、専用 AC アダプタや専用シガーソケットアダプタを外した状態で数時間放置し、完全に乾燥するまで待ってから電源を ON にしてください。また、夏でも、エアコンなどの風が本機に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は、本機の設置場所を変えてください。

結露はこんなときにおきます。

・本機を寒いところから急に暖かいところに移動したとき。
・暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところで使用したとき。
・夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動して使用したとき。
・湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋で使用したとき。

結露がおきそうなときは、本機をすぐにご使用にならないでください。

・結露がおきた状態で本機をお使いになると、ディスクや部品を傷めることがあります。

免責事項について

●火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた障害に関して、弊社は一切の責任を負いません。

●本機の使用または使用不能から生ずる付随的な障害（事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化・消失など）に関して、弊社は一切の責任を負いません。

●取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。

●弊社が関与しないディスク、ファイルなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。

ディスクについて

使用できるディスク

下記のマークはディスクラベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

ディスク	マーク		内容
DVD ビデオ ディスク			・12cm／8cm ・リージョン番号が2およびＡＬＬ ・映像方式：ＮＴＳＣ
DVD-R/RW DVD-R DL			・12cm ※ディスクによっては再生できない場合があります。
DVD+R/RW DVD+R DL			・12cm ※ディスクによっては再生できない場合があります。
ビデオ CD			・12cm／8cm ・映像方式：ＮＴＳＣ ・バージョン 1.0 ／ 2.0
オーディオ CD			・１２cm／８cm
CD-R CD-RW			・１２cm ※ディスクによっては再生できない場合があります。

●ディスクにマークがあっても、データの作り方やディスクの状態によって、再生ができない場合があります。そのような場合は、ディスクの発売元にお問い合わせください。

再生できるディスクについて

●本機は、日本のテレビ方式 (ＮＴＳＣ) に適合していますので、ディスクやパッケージに「ＮＴＳＣ」と表示されているディスクをお使いください。

●市販されているＤＶＤビデオディスクでも再生できないことがあります。

再生できないディスクの種類

●リージョン番号が「２」または「ＡＬＬ」以外のＤＶＤビデオ。

●ＤＶＤオーディオ、ＤＶＤ-ＲＯＭ、ＤＶＤ-ＲＡＭなど、使用できるディスクに記載のない規格のもの。

●フォトＣＤ、ＣＤ-Ｇ、ＣＤ-ＲＯＭ、ＣＤ-ＥＸＴＲＡのデータなど。

ＤＶＤ±Ｒ／ＤＶＤ±ＲＷディスクの再生について

●ディスクや、データの記録状態によっては、再生できない場合があります。

●ファイナライズしていないＤＶＤ±Ｒ／ＤＶＤ±ＲＷディスクを再生することはできません。

著作権保護機能（CPRM）のついたディスクの再生について

●著作権保護機能「CPRM(Content Protection for Recordable Media)」対応のディスクに録画された、地上デジタル放送、BS デジタル放送、１１０度 CS デジタル放送には著作権保護のためにコピー制御信号が記録されています。本機は CPRM の VR モード再生に対応しておりますが、記録状態によっては再生できない場合があります。

ＣＤ-Ｒ／ＣＤ-ＲＷディスクの再生について

●本機は、オーディオＣＤフォーマット、またはＭＰ３形式の音楽データが記録されたＣＤ-Ｒ／ＣＤ-ＲＷディスクを再生することができます。マルチセッション形式の記録方法に対応しているため追記を行ったディスクも再生できます。ただしディスクや、データの記録状態によっては、再生できないノイズが出る、音が歪むなどのことが起きることがあります。

複製制限機能(コピーコントロール)のついたオーディオCD再生について

●複製制限機能（コピーコントロール機能）のついたオーディオＣＤの中には、正式なＣＤ規格に合致していないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本機で再生できない場合があります。

ディスクの取り扱いかた

●再生面には手を触れないでください。

●ディスクに紙やシールを貼らないでください。

ディスクのお手入れのしかた

●ディスクに指紋、ほこりなどのよごれが付くと、画像の乱れや音質低下、音とびの原因となったり、再生できなくなります。このようなときは、柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭いてください。

●よごれがひどいときは、柔らかい布を水に浸してよく絞ってからよごれを拭き取り、その後乾いた布で水気を拭き取ってください。

●シンナーやベンジンなど、揮発性の薬品は絶対に使用しないでください。

●アナログ式レコード専用のクリーナー、静電気防止剤などは使用できません。ディスクを傷める原因となります。

ディスクの保管のしかた

●高温の場所や直射日光の当たる場所、極端に温度の低い場所を避けて保管してください。
●浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
●ディスクは必ず専用ケースに入れて保管してください。専用ケースに入れずに重ねたり、立てかけたりすると、変形する原因となります。
●ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

ディスクについてのご注意

●損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。

●ディスクの信号面にキズやよごれを付けないでください。
●ディスクに紙やシールなどを貼らないでください。ディスクにそりが発生し、再生できなくなる恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってあることが多く、のりなどがはみ出している場合があり、ディスクの回転に支障が出る恐れがあります。のりなどのはみ出しがないことを確認してからご使用ください。
●ディスクを２枚重ねて再生しないでください。

特殊な形のディスクについて

●本機では、特殊な形のディスク（ハート型や六角形等）は再生できません。故障の原因となりますのでそのようなディスクはご使用にならないでください。

ディスクの結露について

●冬期などにディスクを寒いところから暖かい室内に持ち込んだとき、ディスクの表面に水滴が付くことがあります（結露）。ディスクが結露していると、正常に再生ができないことがありますので、ディスクの表面の水滴をよく拭き取ってからご使用ください。

ＤＶＤに表示されるマークについて

ＤＶＤのディスクラベル、またはパッケージには以下のようなマークが表示されています。

マーク例	内容
	記録されている音声の数を示します。 （左の例は、日本語、英語などのような２種類の音声が収録されています）
	記録されている字幕の数を示します。 （左の例は、日本語、英語などのような２種類の字幕が収録されています）
	記録されている角度（マルチアングル）の数を示します。 （左の例は、３種類の角度で収録されています）
	横：縦＝４：３の標準サイズで記録されていることを示します。
	レターボックス（横：縦＝４：３で上下に黒帯が入っている画面）で記録されていることを示します。
	横:縦＝１６:９のワイドサイズで記録されており、標準サイズ（４:３）のテレビの場合はレターボックスで再生されるように指定されることを示します。
	横:縦＝１６:９のワイドサイズで記録されており、標準サイズ（４:３）のテレビの場合はパン＆スキャン（両側または片側が切れた画面）で再生されるように指定されることを示します。

リージョン番号（地域番号）

リージョン番号について

●ＤＶＤプレーヤーとＤＶＤビデオディスクには、発売地域ごとに地域番号（リージョン番号）が設定されています。ＤＶＤディスクに表示されている地域番号（リージョン番号）と一致しないと再生できません。

本機の地域番号（リージョン番号）は“2”です。

本機で再生できるＤＶＤディスクのリージョン番号について

●ＤＶＤビデオディスクに再生限定地域を表すリージョン番号が表示されている場合には、そのリージョンマークの中に　のように２が含まれているか、または　が表示されていないと、本機では再生できません。

著作権について

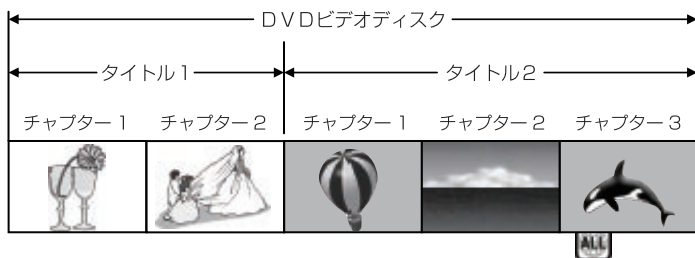
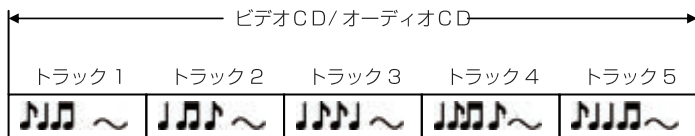
●ディスクを無断で複製、放送、上演、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは法律により禁じられています。

●本機は、合衆国特許権と知的所有権上保証された著作権保護技術（マクロビジョン方式）を搭載しています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの認可なしでは、一般家庭用または他の限られた視聴用だけに使用されるようになっています。また、本機を分解したり、改造することも禁じられています。

●ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、ProLogic およびダブルＤ記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

ディスクの内容の区分

タイトル、チャプター、トラック

ＤＶＤビデオディスクは、「タイトル」という大きい区切りと、「チャプター」という小さい区切りに分かれています。

ビデオＣＤ／オーディオＣＤは、「トラック」で区切られています。

タイトル　：ＤＶＤビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったもの。

チャプター：タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったもの。

トラック　：ビデオＣＤ／オーディオＣＤの内容を曲ごとに区切ったもの。

それぞれのタイトル、チャプター、トラックには、順番に番号がふられています。
これらの番号を「タイトル番号」、「チャプター番号」、「トラック番号」といいます。

●ディスクによっては、それぞれの番号が記録されていないものもあります。

対応メディアについて

対応メディア

本機で対応しているメディアは次のものがあります。

・SD メモリーカード
・メモリースティック
・USB フラッシュメモリ

●全ての「SD メモリーカード」「メモリースティック」「USB フラッシュメモリ」の動作保証をするものではありません。
●SDHC メモリーカードには対応しておりません。
●MMC（マルチメディアカード）での動作保証はしておりません。
●SD メモリーカード、miniSD カード、microSD カードは SD Association の商標です。
●SD ロゴは商標です。

メディアのお手入れについて

●メディアの接点に指紋、ほこりなどのよごれが付くと、再生できなくなったり故障の原因となります。このようなときは、柔らかい布で軽く拭いてください。
●シンナーやベンジンなど、揮発性の薬品は絶対に使用しないでください。
●静電気防止剤などは使用できません。メディアを傷める原因となります。

メディアの保管について

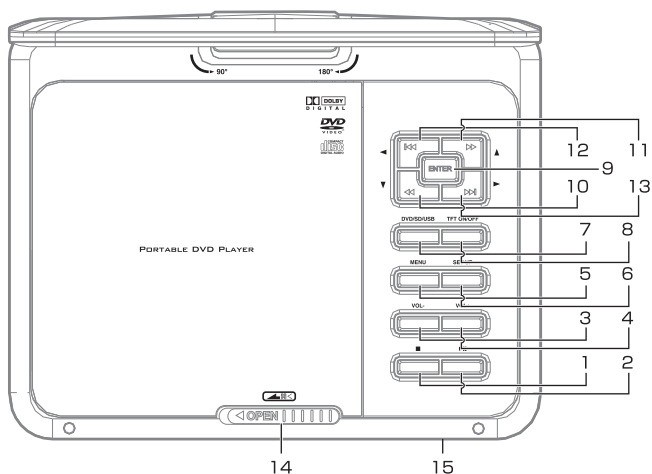
●高温の場所や直射日光の当たる場所、極端に温度の低い場所を避けて保管してください。
●浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所を避けて保管してください。
●メディアは必ず専用ケースに入れて保管してください。
●メディアに付属している注意書は必ずお読みください。

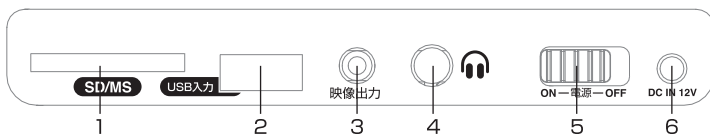
本機でメディアを使用する前に

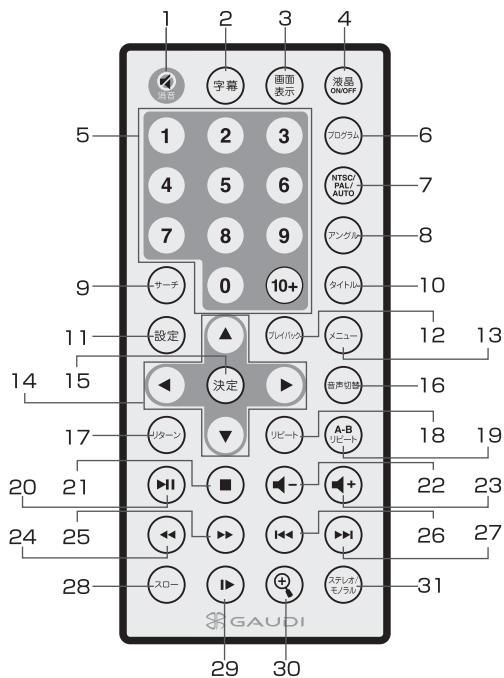
●メディアを使用する前にデータのバックアップを他のメディアに取ってください。
●弊社ではメディアのデータ消失等に関して一切の責任を負いません。

各部のなまえ

本機名称

上面部

1：	■	【停止】	・・・	再生中のディスクやファイルを停止します
2：	▶ll	【再生/一時停止】	・・・	ディスクやファイルの再生/一時停止を行います
3：	VOL+	【音量+】	・・・	音量を上げます
4：	VOL−	【音量−】	・・・	音量を下げます
5：	MENU	【メニュー】	・・・	DVDのメインメニューを表示します
6：	SETUP	【設定】	・・・	設定メニューを表示します
7：	DVD/SD/USB	【メディア切り替え】	・・・	DVD/SD/USBフラッシュメモリを切り替えます
8：	TFT ON/OFF	【液晶ON/OFF】	・・・	液晶画面のON/OFFの切り替えができます
9：	ENTER	【決定】	・・・	各項目で決定を行います
10：	◁◁	【早戻し】/【下】カーソル	・・・	ディスクやファイルの早戻しを行います
11：	▷▷	【早送り】/【上】カーソル	・・・	ディスクやファイルの早送りを行います
12：	I◁◁	【前へ】/【左】カーソル	・・・	再生中の前のチャプターやファイルの開始地点へ移動します
13：	▷▷I	【次へ】/【右】カーソル	・・・	再生中の次のチャプターやファイルの開始地点へ移動します
14：	開く	【開く】	・・・	ディスクカバーを開けます
15：	リモコン受光部		・・・	リモコンから操作を受信します

右側面部

1：SD/MS カードスロット	・・・	SD メモリーカード、メモリースティックを挿します
2：USB ポート	・・・	USB フラッシュメモリを挿します
3：映像出力端子	・・・	映像出力を行う場合に接続します
4：ヘッドホン端子	・・・	ヘッドホンを接続します
5：電源スイッチ	・・・	本機主電源の ON/OFF を切り替えます
6：DC ジャック	・・・	専用 AC アダプタを接続します

リモコン

1：【消音】 ・・・ 消音状態にします
2：【字幕】 ・・・ 字幕を表示します
3：【画面表示】 ・・・ 再生中の情報を表示します
4：【液晶 ON/OFF】 ・・・ 液晶画面の ON/OFF を切り替えます
5：テンキーボタン ・・・ 入力したチャプターやトラックへ移動します
6：【プログラム】 ・・・ プログラム再生をします
7：【NTSC/PAL/AUTO】 ・・・ 映像方式を切り替えます。（NTSC/PAL/AUTO）
8：【アングル】 ・・・ アングルを切り替えます
9：【サーチ】 ・・・ 再生時間を指定してサーチ再生をします
10：【タイトル】 ・・・ タイトルメニューを表示します
11：【設定】 ・・・ 設定メニューを表示します
12：【プレイバック】 ・・・ ビデオ CD でプレイバックコントロールをします
13：【メニュー】 ・・・ ルートメニューを表示します
14：カーソルボタン ・・・ カーソルの移動をします
15：【決定】 ・・・ 各項目で決定をします
16：【音声切替】 ・・・ 収録されている音声言語を切り替えます
17：【リターン】 ・・・ ビデオ CD でメニューを表示します
18：【リピート】 ・・・ リピート再生の設定をします
19：【A-B リピート】 ・・・ 指定区間のリピート再生をします
20：【再生 / 一時停止】 ・・・ ディスクやファイルの再生 / 一時停止をします
21：【停止】 ・・・ 再生中のディスクやファイルを停止します
22：【音量－】 ・・・ 音量を下げます
23：【音量＋】 ・・・ 音量を上げます
24：【早戻し】 ・・・ ディスクやファイルの早戻しをします
25：【早送り】 ・・・ ディスクやファイルの早送りをします
26：【前へ】 ・・・ 前のチャプターやファイルの開始地点へ移動します
27：【次へ】 ・・・ 次のチャプターやファイルの開始地点へ移動します
28：【スロー】 ・・・ スロー再生をします
29：【コマ送り】 ・・・ コマ送り再生をします
30：【ズーム】 ・・・ ズーム再生をします
31：【ステレオ / モノラル】 ・・・ モノラル左 / 右、ミックス、ステレオを選択します

●上記は一例になり、ディスクや本機で実行中のメニューによって動作は異なります。

専用 AC アダプタ接続

本機右側面のDCジャックに専用ＡＣアダプタ、または専用シガーソケットアダプタを接続します。どちらに接続しても電源を ON にできます。本機の LED の状態は以下の表の通りになります。

	充電中	充電完了
電源 ON	橙点灯	緑点灯
電源 OFF	赤点灯	無点灯

●本機の電源が OFF 状態の場合、充電を開始してから約5時間30分で満充電となります。
本機を使用しながら充電できますが、電源 OFF 状態より充電時間が長くなります。
●使用状態により異なりますが、満充電状態から最大約2時間30分使用できます。

リモコンを使用する

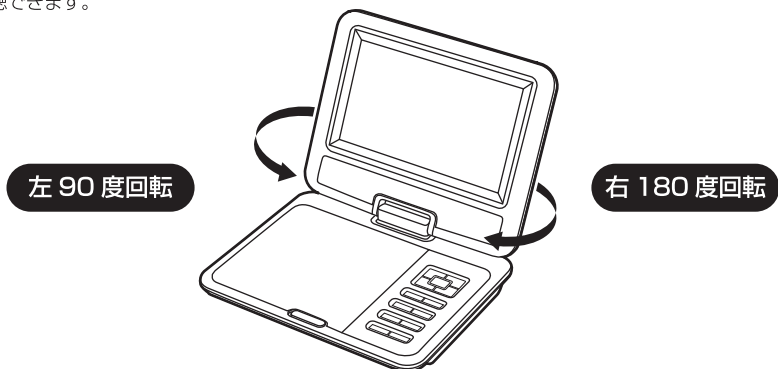
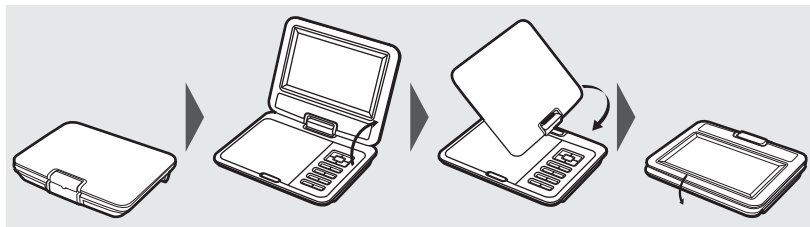
初めてご使用になる場合は、電池挿入口よりプラスチック片を取り除いてください。電池を交換する場合は、市販の CR2025 形ボタン電池をリモコンの刻印に従って交換してください。

●長期間ご使用にならない場合は、リモコンから電池を抜いてください。
●付属の電池はモニタ用のため、寿命が短い場合がございます。

電源操作

本機右側面の電源スイッチを ON 側に動かすと、電源が ON になり画面に「GAUDI」のロゴマークが表示されます。OFF 側に動かすと、電源が OFF になります。

液晶画面を回転させる

本機は液晶画面が左に 90 度、右に 180 度回転できるので、環境に合わせてスタイル変更して視聴できます。

右に回転させるとコンパクトに視聴できます。

●液晶画面を回転させる場合は本体を押さえ、指などを挟まないように注意してください。

再生（基本編）

DVD ビデオディスクを再生する（基本編）

本項目では DVD ビデオディスクの基本操作を紹介します。操作方法は DVD ビデオディスク再生時のリモコン操作を中心に解説します。

●DVD ビデオディスクの収録状態によって、操作ができない場合がございます。
●CPRM で記録した DVD ビデオディスクは解説する機能が使用できない場合がございます。
●ビデオ CD は DVD ビデオと操作方法は同等になりますが、解説する機能が使用できない場合がございます。
●本機で再生できないディスクや、ディスク以外のものをディスクトレイに入れないでください。
●ディスクカバーを上から強く押さないでください。

ディスクを再生する

1. ディスクカバーを開けます
   液晶画面を開き、本機上面の「OPEN」ボタンを左へスライドしてディスクカバーを開けます。
2. ディスクを入れます
   再生面を下にして、ディスクの穴をディスクトレイ中央部の突起に、カチッと音がでるまでしっかりとはめこみます。
3. ディスクカバーを閉めます
   開いたカバーをカチッと音がするまで下に押します。自動的にディスクの再生が始まります。

再生を停止する

リモコンの【停止】ボタンを押します。再生が停止し「GAUDI」のロゴ画面になります。

リモコンの【停止】ボタンを一度押した場合は停止位置が記憶されます。ボタンを二度押した場合は停止位置が記憶されませんので、ディスクの先頭から再生が開始されます。

停止した位置から再生を再開する

リモコンの【再生 / 一時停止】ボタンを押します。
【停止】ボタンを一度押した場合は記憶してある停止位置から再生が再開され、
【停止】ボタンを二度押した場合はディスクの先頭から再生されます。

一時停止する

再生中にリモコンの【再生 / 一時停止】ボタンを一度押すと一時停止できます。
通常再生に戻るにはもう一度【再生 / 一時停止】ボタンを押してください。

ディスクの先頭から再生する

リモコンの【停止】ボタンを続けて二回押します。画面右上に「■停止」と表示されます。

リモコンの【再生/一時停止】ボタンを押すと、ディスクの先頭から再生されます。

早送り / 早戻しする

再生中にリモコンの【早送り】/【早戻し】ボタンを押すと、早送り / 早戻し再生になります。

【早送り】を押すごとに早送りスピードが ×2 ～ ×16 で変化します。

【早戻し】を押すごとに早戻しスピードが ×2 ～ ×16 で変化します。

通常再生に戻るには ×16 の状態でもう一度、【早送り】/【早戻し】を押します。
リモコンの【再生 / 一時停止】ボタンを押しても戻れます。

前後のチャプタへ移動する

再生中にリモコンの【次へ】/【前へ】ボタンを押すと、前後のチャプタを選択できます。

【次へ】ボタンを押すと、次のチャプタの開始地点へ移動します。

【前へ】ボタンを押すと、前のチャプタの開始地点へ移動します。

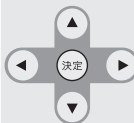
音量調整する

再生中にリモコンの【音量＋】/【音量－】ボタンを押すと音量調整ができ、「0」～「16」の間で調整できます。

消音にしたい場合は、再生中にリモコンの【消音】ボタンを押します。画面下部に「　」のアイコンが表示され消音状態となり、内蔵スピーカーとヘッドホンから音が聞こえなくなります。消音状態を解除するには、もう一度【消音】ボタンを押してください。

メニュー画面を表示する

メニュー画面が記録されている DVD ビデオディスクでは、メニュー画面からタイトルやチャプターを選んでの再生や、音声や字幕の設定ができるものがございます。

リモコンの【メニュー】ボタンを押します。DVD ビデオディスクに収録されたメニュー画面が表示されます。

リモコンのカーソルボタンで再生したい項目や、設定したい項目を選びます。

リモコンの【決定】ボタンを押すと選択した項目が決定されます。

DVD ビデオディスクを再生する（応用編）

本項目では DVD ビデオディスクの応用操作を紹介します。

音声を切り替える

複数の音声が記録されている DVD ビデオディスクは、音声の切り替えができます。
※例：DVD ビデオディスクに「日本語」と「英語」が収録されている場合はどちらか選択できます。

再生中にリモコンの【音声切替】ボタンを押すごとに音声が切り替わります。

●ディスクによっては、メニュー画面を使って音声を切り替える場合がございます。
●一つの音声しか記録されていないディスクでは、音声の切り替えはできません。
●本機では DTS 収録された音声は再生できません。

字幕を切り替える

字幕が記録されているディスクでは、字幕の表示 / 非表示を切り替えられます。また、複数の字幕が記録されているディスクでは、字幕を切り替えられます。

再生中にリモコンの【字幕】ボタンを押すと、表示される字幕が切り替わります。

●ディスクによっては、メニュー画面を使って字幕を切り替える場合がございます。
●字幕が記録されていないディスクや、一つの字幕しか記録されていないディスクでは、字幕の切り替えはできません。

アングルを切り替える

複数アングルが記録されているディスクでは、アングルを切り替えられます。

再生中にリモコンの【アングル】ボタンを押すごとにアングル番号を切り替えできます。

●ディスクによっては、メニュー画面を使ってアングルを切り替える場合がございます。
●一つのアングルしか記録されていないディスクでは、アングルの切り替えはできません。

DVDビデオディスクを再生する（便利な再生機能編）

本項目では DVD ビデオディスクの便利な再生機能を紹介します。

再生中の情報を表示する

再生中のディスク情報や、設定状況を画面上部に表示して確認できます。

再生中にリモコンの【画面表示】ボタンを押すと以下のように画面に表示されます。

DVD　　　　　　　　00:11:27　02:06:42
タイトル　1/3　　　　チャプター 3/36
音声　2/2 DD 6ch Jap
字幕　2/3 Jap
アングル　1/1　　　　Bitrate　4.655Mbps

※解説は DVD ビデオディスクでの一例です。

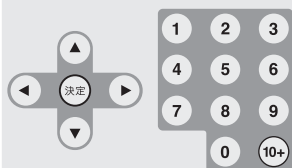
- ●ディスクの状態によっては、時間等が正常に表示されない場合がございます。
- ●ビデオ CD の場合は表示できる情報が異なります。

サーチ再生する

視聴したい「タイトル」「チャプター」「タイム」を指定して、頭出し再生ができます。
※以下の解説は DVD ビデオディスクの例になります。

再生中にリモコンの【サーチ】ボタンを押すと以下のように画面に表示されます。

次ページへ

前ページから

リモコンのカーソルボタンで、項目を選択し、テンキーボタンで数値を入力してください。

リモコンの【決定】ボタンを押すと指定した場所から再生できます。

●ビデオ CD はトラック番号のみ指定できます。
●ディスクによっては機能しない場合がございます。

スロー再生する

DVD ビデオディスクを 1/2 〜 1/8 倍でスロー再生できます。

再生中にリモコンの【スロー】ボタンを押します。ボタンを押すごとに再生速度を「1/2」「1/4」「1/6」「1/8」から選択できます。通常再生に戻るにはもう一度【スロー】ボタンを押してください。

●スロー再生中は音声再生されません。
●ディスクによってはスロー再生できない場合がございます。

コマ送り再生する

DVD ビデオディスクをコマ送り再生ができます。

再生中にリモコンの【コマ送り】ボタンを押すごとにコマ送り再生できます。通常再生に戻るには【再生 / 一時停止】ボタンを押してください。

●コマ送り再生中は音声再生されません。
●ディスクによってはコマ送り再生できない場合がございます。

ズーム再生する

DVD ビデオディスク再生中の映像の大きさが 3 段階でズーム再生できます。

再生中にリモコンの【ズーム】ボタンを押すごとに拡大倍率が 3 段階で変化します。

ズーム再生中にリモコンのカーソルボタンで上下左右に再生位置を移動できます。通常再生に戻るには 3 段階目の状態でもう一度【ズーム】ボタンを押してください。

●DVD ディスクや再生場面によってズーム再生できない場合がございます。

リピート再生する

DVD ビデオディスクでお好みの「チャプター」「タイトル」をリピートして再生できます。

再生中にリモコンの【リピート】ボタンを押すごとに以下のリピートモードが選択できます。※以下の解説は DVD ビデオディスクの例になります。

チャプターリピート	・・・	現在のチャプターを繰り返し再生します。 チャプタの最後まで来ると、チャプタの先頭から再生が始まります。
タイトルリピート	・・・	現在のタイトルを繰り返し再生します。 タイトルの最後まで来ると、タイトルの先頭から再生が始まります。
リピートオフ	・・・	通常再生します。

●DVD ディスクによってはリピート再生できない場合がございます。

A-B リピート再生する

お好みの 2 点間を指定して繰り返し再生できます。

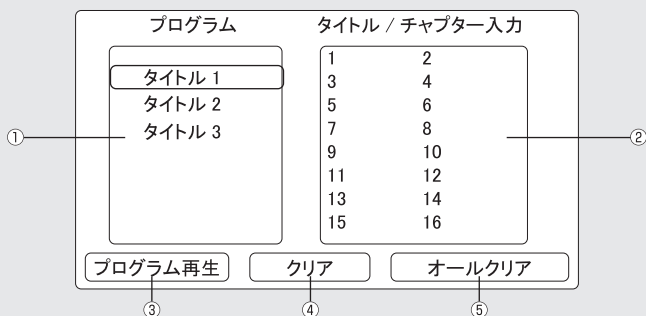
再生中に開始位置に指定したい箇所でリモコンの【A-B リピート】ボタンを押します。画面右上に「A-」と表示され、開始位置が記録されます。

画面右上に「A-」と表示されている状態で終了位置に指定したい箇所で【A-B リピート】ボタンを、もう一度押します。画面右上に「A-B のリピート」と表示され、指定した 2 点間がリピート再生されます。
通常再生に戻るには「A-B のリピート」と表示されている状態で【A-B リピート】ボタンを押します。

●DVD ディスクによっては A-B リピート再生できない場合がございます。

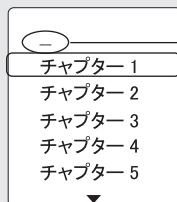
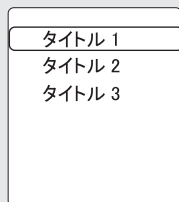
プログラム再生する

DVD ビデオディスクのチャプターをお好みの順番に 16 番目までプログラム再生できます

再生中にリモコンの【プログラム】ボタンを押すと以下のようなプログラムメニューが表示されます。※以下の解説は DVD ビデオディスクの例になります。

① ・・・ DVD ビデオディスク内のタイトル、チャプターを表示します
② ・・・ プログラム再生に追加されたチャプターを表示します
③ ・・・ プログラム再生を開始します
④ ・・・ ②のリストから 1 チャプターずつ削除します（16 番目から順に削除されます）
⑤ ・・・ ②のリストから全てのチャプターを削除します

次ページへ

①の項目からリモコンのカーソルボタンの【上】/【下】を押して DVD ビデオディスク内からタイトルを開きチャプターを選択します。

決定

リモコンの【決定】ボタンの押すと②の項目にチャプターが追加されます。

リモコンのカーソルボタンの【右】を押すと「プログラム再生」にカーソルが移動しますので、【決定】ボタンを押すとプログラム再生が開始されます。
※①の項目にカーソルを戻すにはカーソルボタンの【上】を押してください。

●DVD ビデオディスクによってはプログラム再生機能が有効にならない場合がございます。

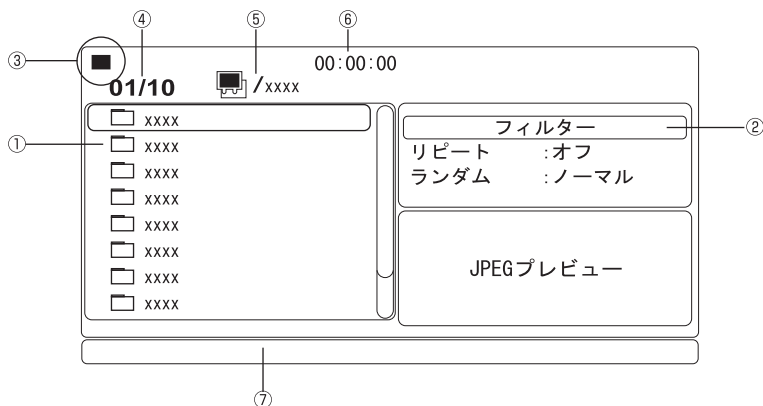
ファイルメニューの操作

本項目では SD メモリーカード、メモリースティック、USB フラッシュメモリ、ディスクに対応フォーマット形式のファイルが収録されている場合に使用する、ファイルメニューの操作方法を紹介します。尚、各メディアの同時使用はできません。

●対応フォーマット形式であっても、全ての SD メモリーカード、メモリースティック、USB フラッシュメモリ、ディスクの再生を保証するものではありません。
●以降の解説については SD メモリーカード、メモリースティック、USB フラッシュメモリ、ディスクをメディアと表記いたしますので、ご使用のメディアに置き換えてお読みください。

ファイルメニューの表示

本機では対応フォーマット形式の動画ファイル、音楽ファイル、画像ファイルが再生できます。
対応のファイルが収録されたメディアを挿入して読み込ませるとファイルメニューが表示されます。

次ページへ

前ページから

①・・・　ファイルエリア（メディア内のフォルダとファイルの一覧が表示されます）

②・・・　機能エリア（以下の選択ができます）

・「フィルター」・・・　ファイルエリアに表示するファイルの種類を変更できます
「音声」「写真」「ビデオ」が選択でき、チェックマークが入っているファイルの種類が表示されます

・「リピート」　・・・　「オフ」「シングル」「フォルダ」が選択できます

・「ランダム」　・・・　「ノーマル」「シャッフル」「イントロ再生」が選択できます

・「編集モード」
・「プログラム表示」
・「プログラム入力」
・・・プログラム再生リスト作成時に使用します

③・・・　現在の動作状態のステータスが表示されます

④・・・　フォルダ数、またはファイル数が表示されます

⑤・・・　選択されているフォルダやファイルの位置を表示します

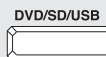
⑥・・・　現在の再生中時間が表示されます

⑦・・・　選択されているファイルに格納してある情報を表示します

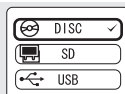
ファイルメニューの基本操作

リモコンのカーソルボタンでフォルダやファイルを選択できます。

再生または表示させたいファイルを選択し、リモコンの【決定】ボタンを押すと再生または表示されます。

読み込みメディアの切り替え

DVD/SD/USB

本機の【DVD/SD/USB】ボタンを押すと、読み込みたいメディアの切り替えができます。※再生を停止した状態で行ってください。

リモコンのカーソルボタンの【上】/【下】でメディアを選択して【決定】ボタンを押すと読み込まれます。

●メモリースティック挿入時は右図の「SD」の表記が「MS」と表示されます。

プログラム再生する

お好みの順番にファイルをプログラムして再生できます。

■プログラム再生リスト作成手順

1. 機能エリアから「編集モード」にカーソルを合わせて【決定】ボタンを押します。
   （「編集モード」の表示が反転します）
2. ファイルエリアからプログラムしたい順番にファイルを選択して【決定】ボタンを押していきます。（選択したファイルにチェックマークが入っていきます。）
3. 機能エリアから「プログラム入力」にカーソルを合わせて【決定】ボタンを押します。
   （プログラム再生リストが本機に記憶されます。）
4. 機能エリアから「プログラム表示」を開くと、プログラムしたトラックのみがファイルエリアに表示されます。
5. ファイルエリアにカーソルを移動して、リモコンの【再生 / 一時停止】ボタンを押すとプログラム再生が開始されます。

■プログラム再生リスト削除手順

1. ファイルが再生されている場合はリモコンの【停止】ボタンを 2 回押して停止します。
2. ファイルエリアから削除したいファイルを選択して【決定】ボタンを押していきます。
   （選択したファイルにチェックマークが入っていきます。）
3. 機能エリアに移動し、「全てを消去」を選択するとチェックマークを入れたファイルを削除できます。

●プログラム再生リスト再生中は「プログラム表示」と「ファイル表示」の表示が切り替わり、「プログラム入力」と「全てを消去」の表示が切り替わります。
●「編集モード」が反転表示さている状態以外ではチェックマークは入れられません。

動画ファイル/音楽ファイル/オーディオCDの再生

本項目では動画ファイル、音楽ファイル、オーディオ CD の再生方法を紹介します。操作方法はファイルメニューから行い、DVD ビデオディスク再生時と同等になります。以下を参考にしてください。

■再生方法は「DVD ビデオディスクを再生する」(P.29) をご覧ください。

■音量調整方法は「音量調整する」(P.31) をご覧ください。

■DVD ビデオ再生時との違いは以下の通りになります。

「シングルリピート」「フォルダーリピート」「リピートオフ」が選択できます。

操作方法が異なりますので「プログラム再生する」(P.40) をご覧ください。

指定した時間からサーチ再生できます。テンキーボタンで時間を指定してください。

※「スロー再生」「コマ送り再生」「ズーム再生」は音楽ファイル、オーディオ CD 再生時は無効になります。

●対応形式であってもファイルによっては再生できない場合がございます。また、各メニューが有効にならない場合がございます。
●DRM（著作権保護機能）には対応しておりません。
●音楽ファイルや動画ファイルの作成方法についてはサポート対象外になります。

画像ファイルの表示

本項目では画像ファイルの表示方法を紹介します。操作方法はファイルメニューから行い、DVDビデオ再生時と同等になります。以下を参考にしてください。

画像を表示する

ファイルメニューから画像ファイルを選択してリモコンの【決定】ボタンを押すと、画像がフルスクリーンで約 5 秒間隔でスライドショー表示されます。

■以下は画像をフルスクリーンでスライドショー表示中の動作になります。

スライドショーの再生 / 一時停止ができます。

ファイルメニューに戻ります。

画像の表示を回転できます。

【上】/【下】　・・・　180 度回転表示します

【左】　・・・　反時計回りに 90 度単位で回転表示します

【右】　・・・　時計回りに 90 度単位で回転表示します

画像をズーム表示します。（拡大率は 1→2→3→オフが選択できます）

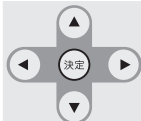
スライドショー効果を選択できます。「なし」「ワイプ下」「ワイプ上」「スプリット内」「スプリット外」「ブラインド下」「ブラインド上」「ランダム」が選択できます。

画像ファイルを縮小一覧表示（サムネイル）ができます。ファイルモードに戻るには【停止】ボタンを押してください。

●対応形式であっても画像ファイルによっては再生できない場合がございます。

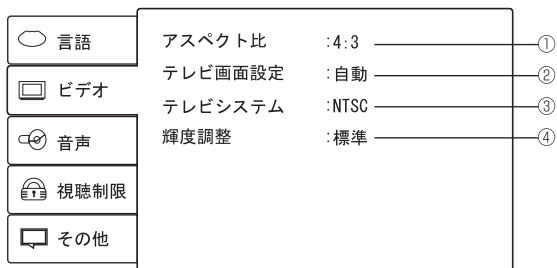
●画像ファイルによっては再生機能が正常動作しない場合がございます。

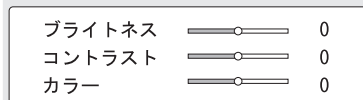
設定画面の操作

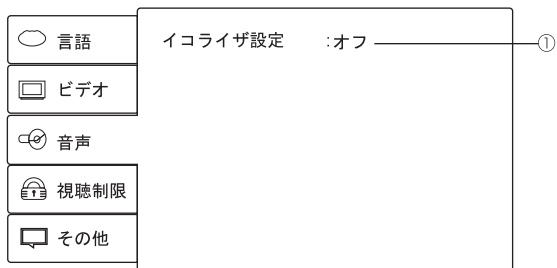
本機の設定を変更するには設定画面で変更します。

リモコンの【設定】ボタンを押すと以下のように表示されます。リモコンの【上】/【下】ボタンで「言語」「ビデオ」「音声」「視聴制限」「その他」が選択できます。【右】ボタンで各項目に移動でき、【決定】ボタンで設定変更できます。

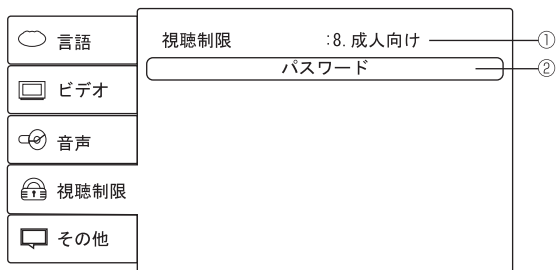
言語

①: OSD メニュー ・・・ 「英語」「日本語」が選択できます
②: サブタイトル ・・・ 「英語」「日本語」「オート」「オフ」が選択できます
③: 音声 ・・・ 「英語」「日本語」が選択できます
④: DVD メニュー ・・・ 「英語」「日本語」が選択できます

ビデオ

①: アスペクト比　・・・「4：3」「16：9」が選択できます
②: テレビ画面設定　・・・「フルサイズ」「オリジナル」「自動」「パンスキャン」が選択できます
③: テレビシステム　・・・「NTSC」「PAL」「オート」が選択できます。日本はNTSCになります
④: 輝度調整　・・・「標準」「高」「低」「カスタム」が選択できます

■輝度調整のカスタム設定方法

リモコンの【上】/【下】ボタンで「ブライトネス」「コントラスト」「カラー」が選択でき、【左】【右】ボタンで調整できます。

音声

①: イコライザ設定　・・・「オフ」「クラシック」「ロック」「ジャズ」「ポップ」が選択できます

視聴制限

①: 視聴制限　・・・「1.子供向け」「2.G(一般向け)」「3.PG-G」「4.PG-13」「5.PG-R」「6.R(R指定)」「7.NC-17」「8.成人向け」が選択できます。数値が小さいほど、制限が厳しくなります。(変更時にパスワードの入力が必要になります)

②: パスワード　・・・ 視聴制限のパスワードを設定します(手順は以下参照)

■パスワードの設定変更方法

パスワード入力　■■■■

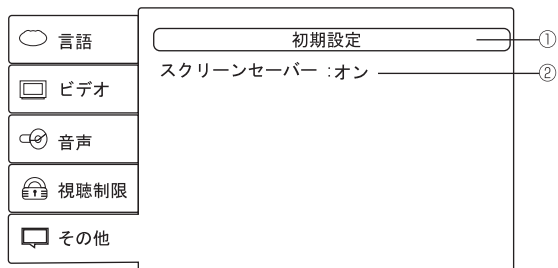
上記②にカーソルを合わせた状態でリモコンの【決定】ボタンを押すと、左の画面が表示されますので現在のパスワードを入力します。

上記②にカーソルが戻りますので、もう一度リモコンの【決定】ボタンを押してください。

新しいパスワード入力　■■■■

新しく設定したいパスワードを入力して、【決定】ボタンを押してください。

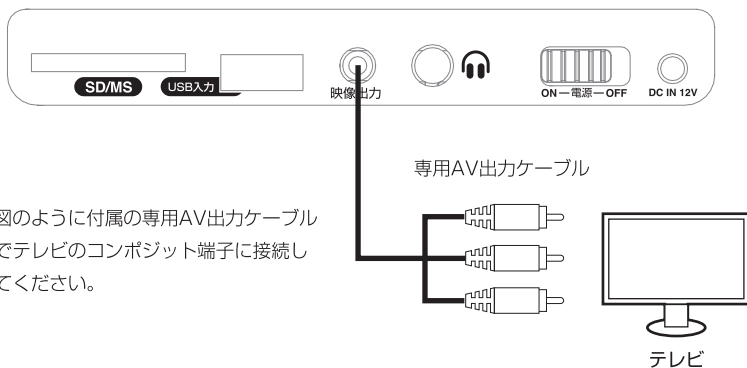
●出荷値にリセットを行っても、パスワードはリセットされません。
●マスターパスワードは「8888」になります。変更したパスワードが分からなくなった場合はマスターパスワードで入り直し、再設定してください。　(マスターパスワードの変更はできません。)
●パスワードの入力覧の表示は数字で表示されません。「XXXX」で表示されます。

その他

①: 初期設定　・・・　設定画面の設定を出荷時に戻します

②: スクリーンセーバー　・・・　スクリーンセンバーの「オフ」「オン」が設定できます

●再生するディスクにより設定が有効にならない場合がございます。
●ディスクの挿入中は操作できない設定項目がありますので、取り出して操作してください。

テレビに出力する

本機の外部出力端子を使用してテレビに出力する方法を紹介します。

図のように付属の専用AV出力ケーブルでテレビのコンポジット端子に接続してください。

●本機の音量を最小にし、本機の電源とテレビの電源をオフにしてから接続してください。
●テレビによって画面の比率が乱れる場合がございますがご了承ください。

故障かな？と思ったら

電源が入らない	●専用 AC アダプタをコンセントへしっかりと差し込んでください。
映像が映らない	●電源は ON になっているか確認してください。
再生できない	●本機で再生できるディスクか確認してください。 ●ＤＶＤディスクはリージョン番号を確認してください。本機のリージョン番号は「2」です。 ●ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。 ●ディスクはラベル面を上に正しくセットしてください。 ●ディスクがトレイに正しくセットされているか確認してください。 ●寒いところから急に暖かいところに持ってきたときなどに、レンズ部に露が付くことがあります。１～２時間放置してください。
映像が白黒になる	●ディスクの映像タイプを確認してください。
映像が乱れる	●ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。 ●サーチ再生中は多少乱れが出ることがありますが、故障ではありません。
音声が出ない	●本機、リモコンの音量レベルを確認してください。 ●再生一時停止中、ステップ再生中に音声は出ません。 ●セットアップ画面の設定を確認してください。
リモコンがきかない	●電池の＋、－の向きを確認してください。 ●電池が消耗している場合は新しいものと交換してください。 ●リモコンを本機のリモコン受光部に向けて操作してください。 ●リモコンとリモコン受光部の間の障害物を取り除いてください。

字幕言語が切り替えられない	●字幕の入っていないディスクでは切り替えできません。 ●複数の字幕の入っていないディスクでは切り替えできません。 ●【字幕】ボタンで切り替えられないディスクの場合、ディスクのメニュー画面などで切り替えできる場合があります。
字幕が出ない	●字幕の入っていないディスクでは字幕は表示されません。 ●字幕が「オフ」になっている場合は、【字幕】ボタンで切り替えてください。
音声言語が切り替えられない	●複数の音声の入っていないディスクでは切り替えできません。 ●【音声切替】ボタンで切り替えられないディスクの場合、ディスクのメニュー画面などで切り替えできる場合があります。
アングルを変えて見ることができない	●複数のアングルの入っていないディスクでは切り替えできません。 ●複数のアングルが記録されている場面でのみ切り替えできます。
動画ファイルや音楽ファイルが再生できない	●対応形式であっても再生できない場合はエンコードソフトを変えて試してください。尚、変換方法についてはサポート対象外になりますのでご了承ください。
すべての設定を初期設定に戻したい	●設定画面の「その他」から「初期設定」を選択し、出荷時の設定に戻してください。

静電気や落雷、他の機器との干渉により、本機が正常に動作しない場合があります。その際は、本機の電源をオフにしてからオンにする、または電源をオフにしてからいったん電源コードを抜き、再び差し込んでから電源をオンにすることにより正常動作になる場合があります。

仕様

製品型番	GHV-PDV775
スクリーン	7 型ワイド TFT 液晶（16:9）
スクリーン画素数	480×234 ピクセル
再生可能メディア	DVD ビデオディスク /DVD±R/DVD±RW/DVD±R DL CD-DA/CD-R/CD-RW/ ビデオ CD SD(～2GB､SDHC非対応)/MS(～2GB)/USBフラッシュメモリ(～8GB)
再生可能フォーマット	MPEG1/MPEG2/MP3/WMA/JPEG
信号方式	NTSC/PAL（手動切り替え可能）
音声周波数特性	100Hz ～ 20KHz
S/N 比	50dB 以上
ダイナミックレンジ	60dB 以上
搭載端子	映像出力端子 ×1 3.5φヘッドホン出力端子 ×1 USB 入力端子 ×1
定格電圧	AC100V 50/60Hz 0.4A
定格出力	DC12V 1.5A
消費電力	最大 13W
バッテリ再生時間	最大約 2 時間 30 分
バッテリ充電時間	約 5 時間 30 分
動作温度範囲	5℃～ 40℃
動作湿度範囲	20% ～ 60%（結露なきこと）
外形寸法	W 210.0mm × D 170.0mm × H 40.0mm（本体のみ）
重量	約 760g（本体のみ）

・再生可能メディアは全てのメディアを保証するものではございません。

・変換アダプタを使用した場合は動作保証外になります。

・再生可能フォーマットは全てのファイルを保証するものではございません。

・連続再生時間、充電時間は目安であり、使用条件やバッテリ状況などの影響で異なります。

・仕様および本機のデザインは、改良のため予告なしに変更することがあります。

製品構成

製品構成		
	・GHV-PDV775(本体)	1 台
	・専用リモコン	1 個
	・リモコン用ボタン電池 (CR2025 取り付け済み)	1 個
	・専用 AV 出力ケーブル	1 本
	・専用 AC アダプタ	1 個
	・専用シガーソケットアダプタ (12V 車専用)	1 個
	・専用キャリングバッグ	1 個
	・取扱説明書（本書）	1 部
	・１年間保証書	1 部

故障修理について

故障・修理についてのお問合せは、下記のサービス窓口にてご相談ください。

サポート窓口	グリーンハウス　テクニカルサポート
ホームページ	http://www.green-house.co.jp/
サポートダイヤル	03-5421-5749
受付時間	10:00 ～ 12:00 ／ 13:00 ～ 17:00　（弊社営業日のみ）
FAX	03-5421-2266（２４時間受付）
住所	〒153-0013　東京都渋谷区恵比寿 1-20-22　三富ビル４階

テクニカルサポートダイヤルの時間は、予告なく変更する場合があります。ご確認は当社ホームページにてお願い致します。

サポートを受ける為にはユーザー登録が必要になります。当社ホームページよりご登録お願い致します。

ご使用上のご質問、お問い合わせは当社ホームページ内のお問い合わせフォームよりお願い致します。(http://www.green-house.co.jp/support/index.html)

◆本書の内容の一部又は全部を無断転載することは固くお断り致します。

◆本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。

◆本書に記載した会社名・商品名は、各社の商標又は登録商標です。

◆本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一誤りや記載漏れ等お気づきの点がありましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。

◆乱丁、落丁はお取替えいたしますので、お買い上げの販売店までご連絡ください。

GHV-PDV775シリーズ

GREEN HOUSE 株式会社 グリーンハウス

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-20-22 三富ビル4F
テクニカルサポートダイヤル TEL : 03-5421-0580
グリーンハウスホームページ : http://www.green-house.co.jp/

Ver.1.0